

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	住之江
学校名	大阪市立加賀屋小学校
学校長名	高田 博史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・加賀屋小学校では、第6学年 32名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

学校の平均正答率は国語64%、算数58%、理科58%で、全国平均（国語66.8%、算数58.0%、理科57.1%）と比較すると、算数・理科はほぼ同水準、国語はやや低い結果であった。大阪市（国語65%、算数58%、理科55%）との比較では、国語・算数はほぼ同等、理科は学校がやや高い傾向である。

領域別に見ると、国語では「読むこと」の正答率が最も低く（54.5%）、一方「言葉の特徴や使い方」は高得点（78.6%）であった。算数では「測定」が最も低く（50.0%）、「数と計算」や「データの活用」は高得点（64.7%、64.3%）であった。理科では「エネルギー」領域が最も低く（38.4%）、「地球」領域が最も高い（66.1%）結果であった。

全体として、学校は全国平均と比較して概ね同水準の学力を示しており、特定領域における課題と強みが明確になっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 「知識・技能」に関する問題で高い正答率を示しており、語彙や漢字の使用、文法などの基本的な言語知識は十分に定着している。一方、「思考・判断・表現」に関する問題では全国平均を下回り、文章の構成や要旨の把握、意見の形成といった言語活動に課題がある。出題趣旨としては、「話し手の意図を捉える」「資料をもとに自分の考えをまとめる」などが挙げられ、これらに対する理解力や表現力の育成が求められる。

[算数] 「数と計算」や「図形」などの基礎領域では全国平均を上回る成果を示しているが、「変化と関係」や「データの活用」など、論理的思考や情報処理を要する問題では正答率が低く、特に記述式問題では全国平均を下回る傾向が見られる。出題趣旨としては、「数量の関係を式で表す」「グラフから情報を読み取る」などがあり、これらに対する理解と表現力の強化が必要である。

[理科] 「生命」や「地球」領域において全国平均を上回る正答率を示しており、自然現象や生物の基本的な理解は良好である。しかし、「エネルギー」領域では正答率が低く、電気や熱などの物理的概念の理解に課題がある。また、記述式問題でも50%以下と正答率が低く、観察・実験結果をもとに自分の考えを論理的に表現する力の育成が求められる。出題趣旨としては、「実験の方法を発想し表現する」「結果をもとに結論を導く」などがあり、科学的思考力の向上が課題である。

総じて、加賀屋小学校では、少人数授業やチームティーチング、専科指導を取り入れ、きめ細やかな指導を継続してきたことが、基礎的な知識・技能においてその成果を示している。一方、思考力・表現力・主体性といった深い学びに関する力の育成が今後の重点課題である。出題趣旨に示された観点を踏まえ、探究的な学習活動や対話的な授業の充実を通じて、児童の思考力・表現力の向上を図る必要がある。

質問調査より

加賀屋小学校の児童は、基礎的な学力は全国水準以上である一方、思考力・表現力・主体性に課題がある。児童の学習意欲や授業理解度、家庭学習時間の少なさが、記述式問題や応用的な問い合わせへの対応力の不足につながっていると考えられる。

今後は、児童が学習の意義を実感し、主体的に取り組む姿勢を育むための授業改善や家庭学習習慣の定着が課題である。

今後の取組(アクションプラン)

今後も、学力向上支援チーム事業を活用し、スクールアドバイザーの指導を仰ぎながら授業研究を通して授業改善に継続して取り組む。さらに、「個別最適な学び」や「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、教員の活用スキルの向上に取り組み、ICT機器の活用をさらに推進する。

【 全体の概要 】

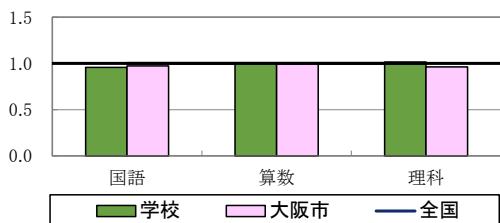
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	64	58	58
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

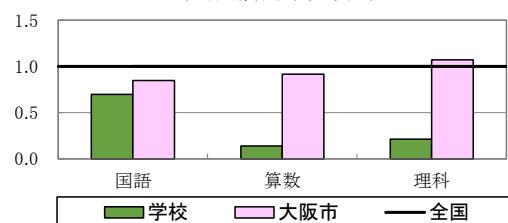
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.3	0.5	0.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



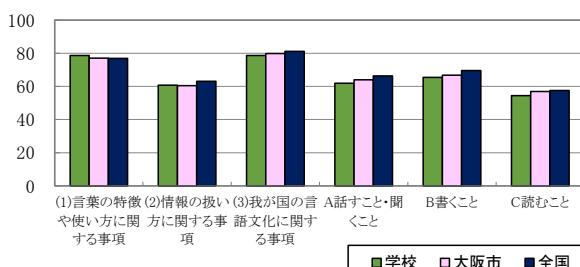
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	78.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	60.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	78.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	61.9	64.0	66.3
B 書くこと	3	65.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	54.5	56.9	57.5

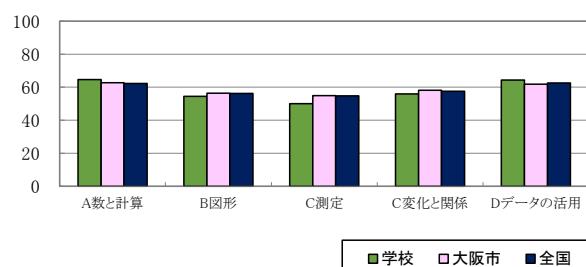
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.7	62.7	62.3
B 図形	4	54.5	56.4	56.2
C 測定	2	50.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.0	58.2	57.5
D データの活用	5	64.3	61.9	62.6

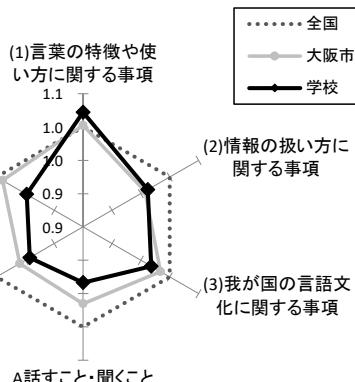
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



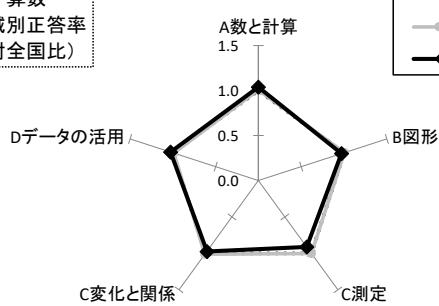
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

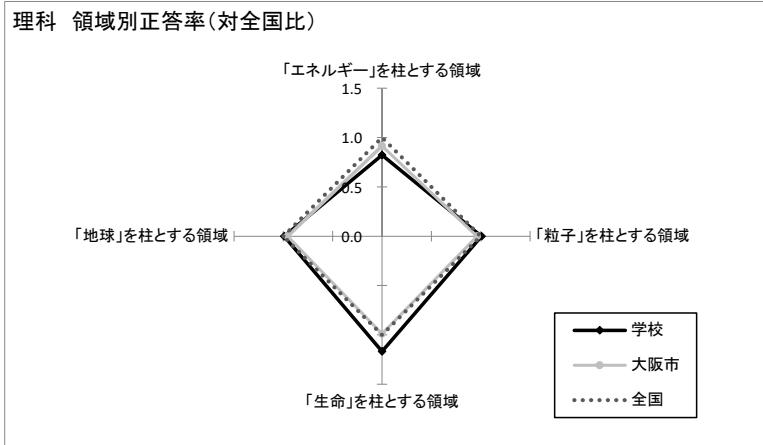
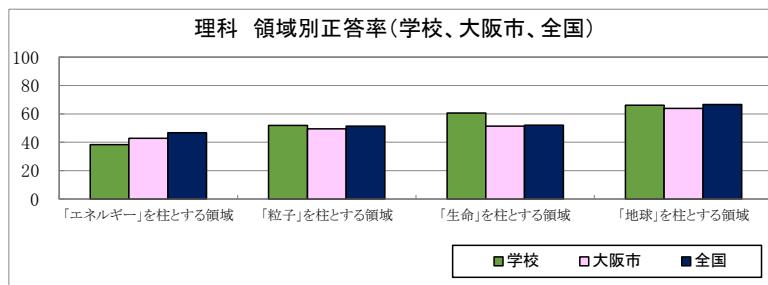


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

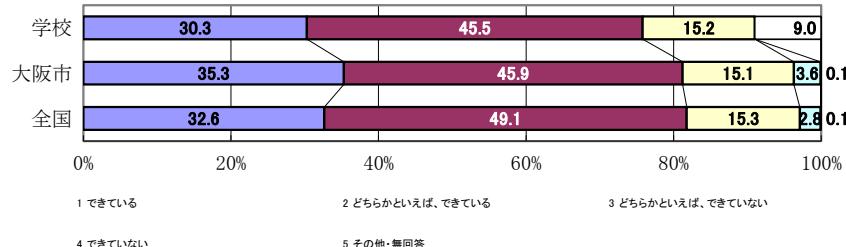
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	38.4	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	51.8	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	60.7	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	66.1	63.8



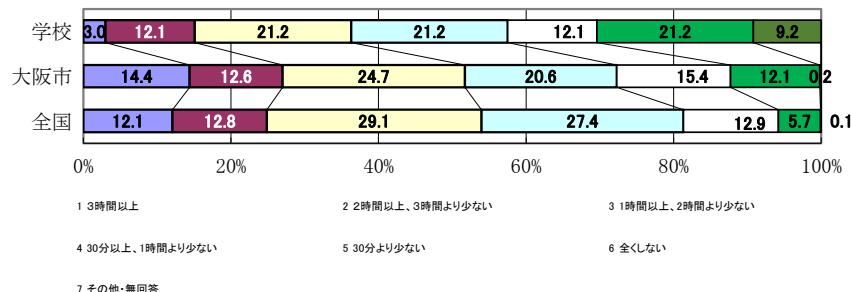
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

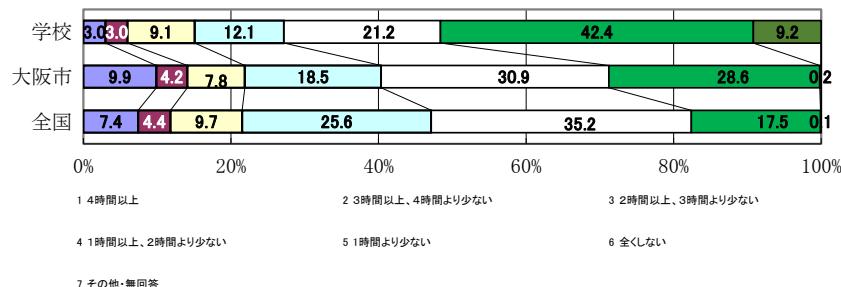
質問番号
質問事項
16
分からぬことやくわしく知りたいことがあつたとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



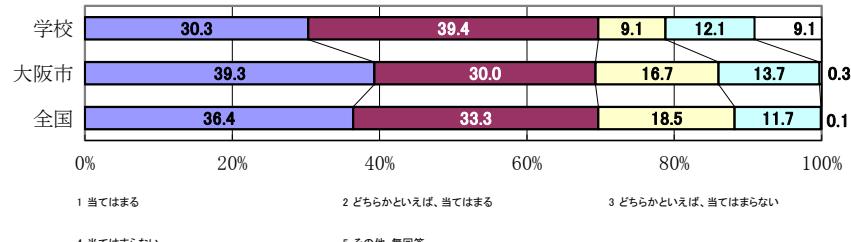
17
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



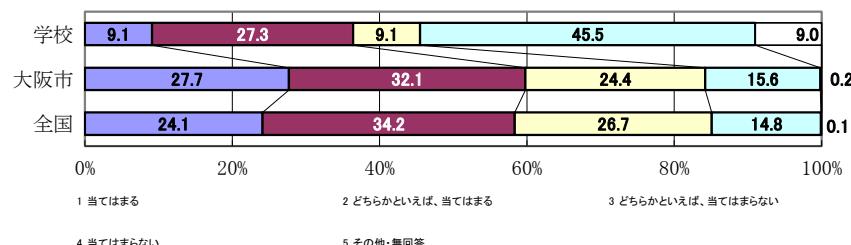
19
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



24
読書は好きですか



45
国語の勉強は好きですか



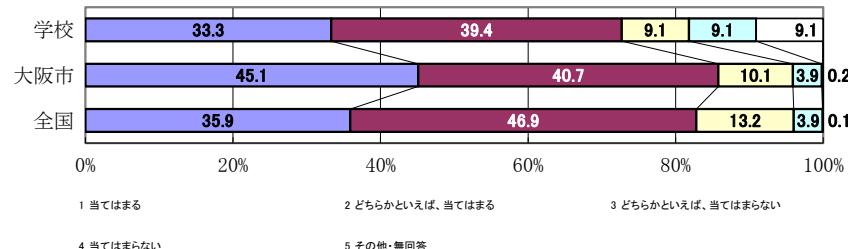
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

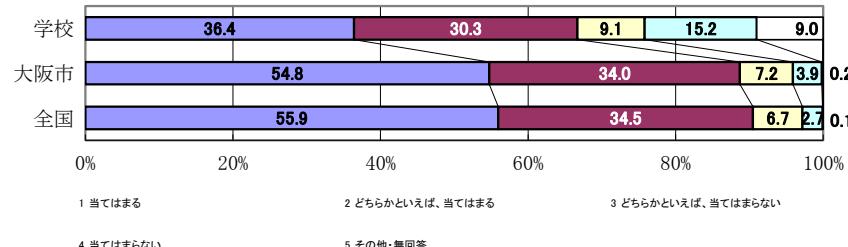
46

国語の授業の内容はよく分かれていますか



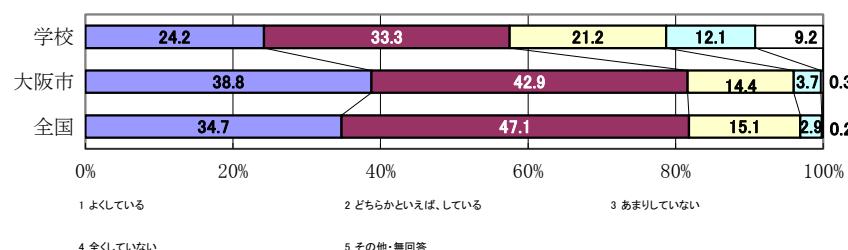
47

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



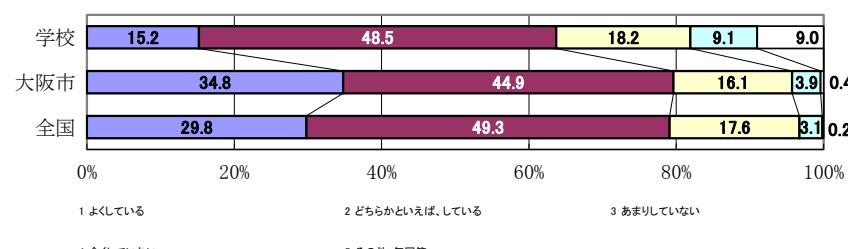
50

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書きたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか



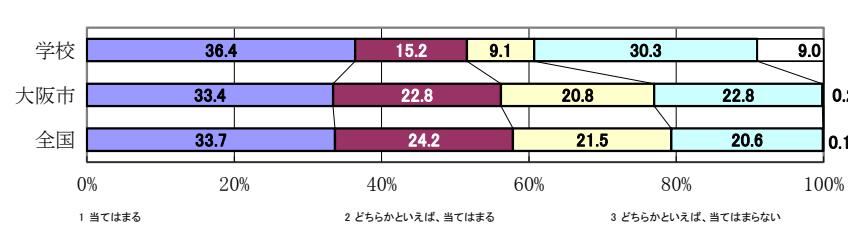
51

国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか



53

算数の勉強は好きですか



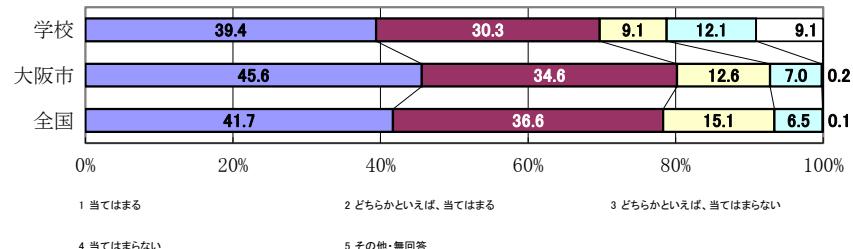
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

54

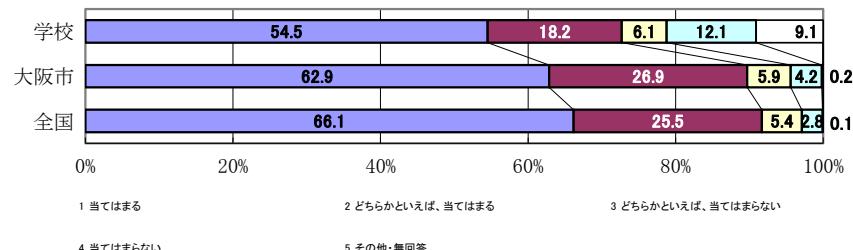
算数の授業の内容はよく分かりますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

55

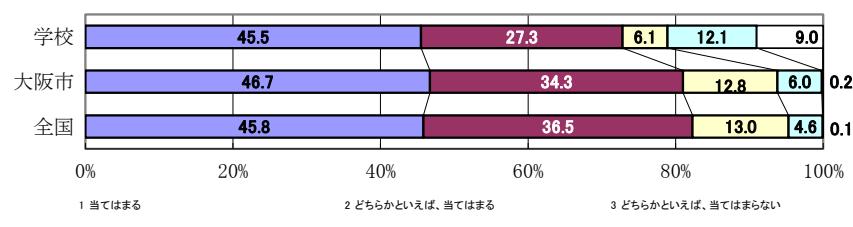
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

57

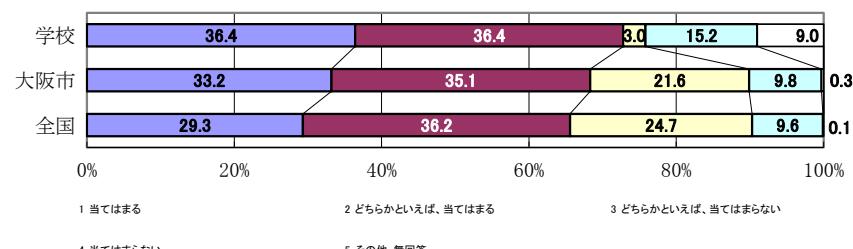
算数の問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

58

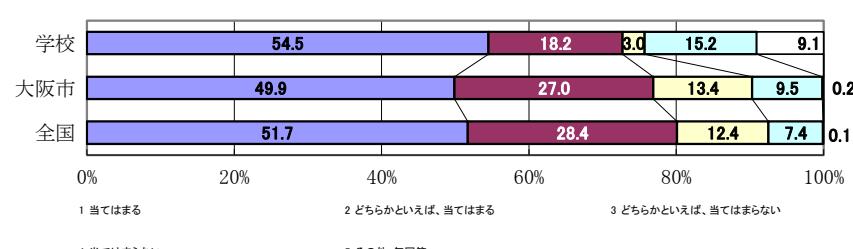
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

61

理科の勉強は好きですか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

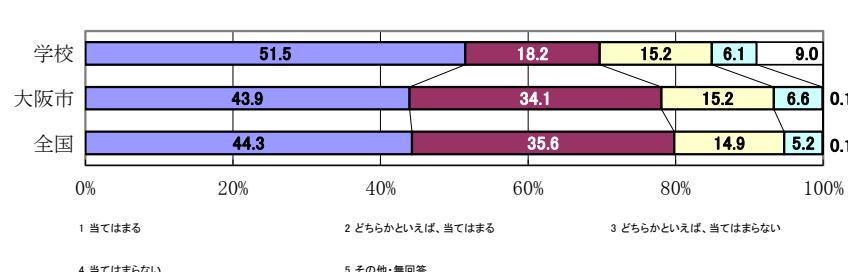
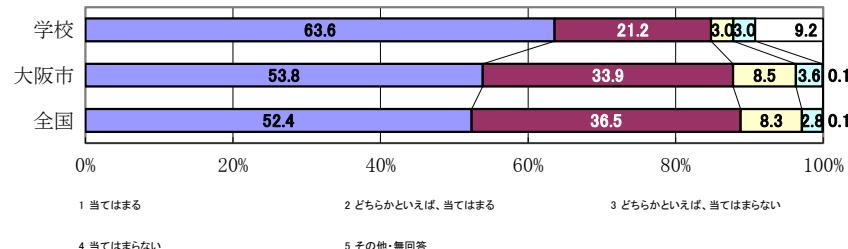
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

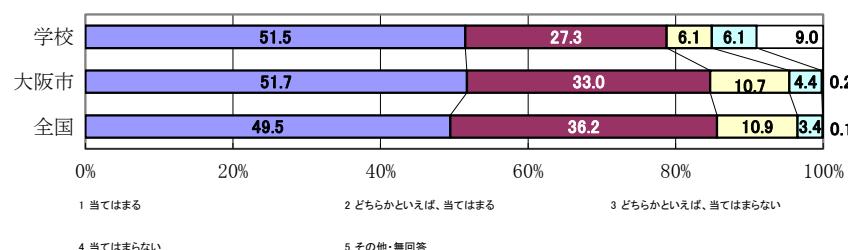
62

理科の授業の内容はよく分かっていますか



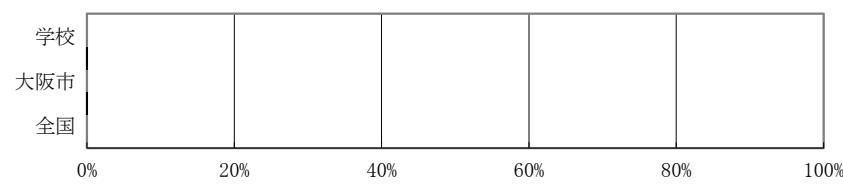
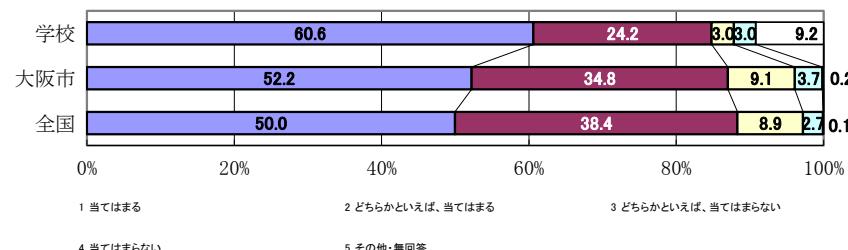
68

理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えていますか



69

理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか



学校質問より

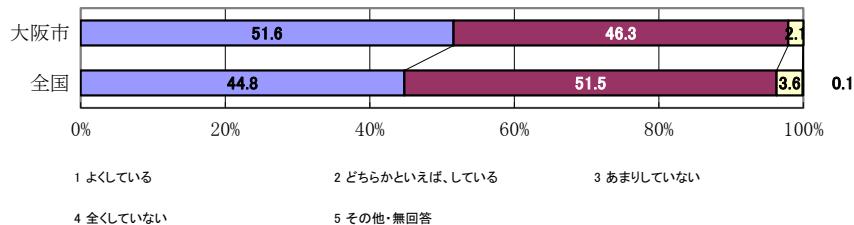
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

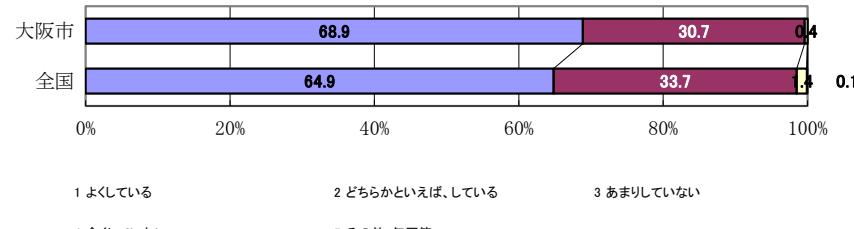
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

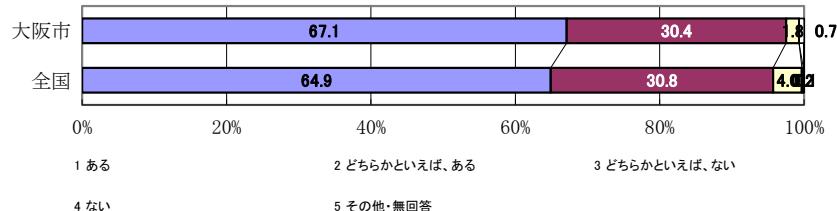
学校 「どちらかといえば、している」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

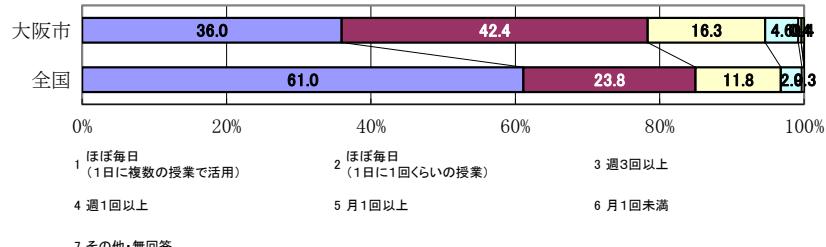
学校 「どちらかといえば、ある」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択



60

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週1回以上」を選択

